

科目名	理科総合(地学分野)	科目コード 020
-----	------------	--------------

学年・学科等名	2 学年	全クラス	必修科目
単位数・開講期	2(1) 単位	通年	
総時間数	30 時間		
担当教員	岡島 吉俊		

本校の教育目標	1	一般理数科の教育目標	2
---------	---	------------	---

JABEE関連	教育プログラム科目区分	
	教育プログラムの学習・教育目標	
	JABEE基準	

教科書名	理科総合 B 改訂版(啓林館)
補助教材	プリント
参考書	

A. 教育目標

人間が生活する地球の現在の姿や、現在までの地球の変化について理解する。自然を探究する力を養い、地球環境保全の重要性を認識する。

B. 概要

地球の姿とその変化について学習した後、太陽系の惑星の共通性と多様性を概観する。地球の異なる環境から、生命が存在する条件を考察する。地球環境に影響をおよぼす熱収支について学ぶ。

C. 学習上の留意点

下記の授業項目をキーワードに、新聞や科学読み物にも関心を持つことが大切である。地学の対象は、実験的に再現することが難しいものが多いため、単なる知識の習得でなく、知識を組み合わせ推論・予想する力を付けることが重要である。そのためには、教科書を読み、授業を真剣に受けることが基本である。

D. 評価方法

地学分野については、試験(70%)、小テスト、課題、レポート等(30%)で評価する。地学分野の評価と生物分野の評価を平均して理科総合の成績とする。

E. 授業内容

授業項目	時間	内容・到達目標
ガイダンス	1	・地学とはどのような科目か理解し説明できる。
1. 地球の姿とその変化 1.1 地球の概観 1.2 地球の内部 1.3 プレーートの動きと地球の変動 1.4 さまざまな景観と変動の記録	7 7	・地球の大きさ・形、特徴的な地形について説明できる。 ・地球の内部構造と地震波との関係を説明できる。 ・プレートの運動による地殻変動や、プレートの境界と火山帯や地震帯との相関について理解し説明できる。 ・プレートの運動や河川がつくりだす景観を説明できる。 ・地形、地層、化石から、過去の地球環境を説明できる。
前期期末試験		
試験返却	1	
2. 惑星としての地球 2.1 地球と他の惑星 2.2 地球の進化と生命の誕生	7	・宇宙の階層構造の中の地球の位置づけを理解できる。 ・惑星が太陽の周りを公転していることを説明できる。 ・太陽系の個々の惑星の特徴を説明することができる。 ・地球の進化と生命の生まれる条件を考察できる。
3. 大気と地球の熱収支 3.1 大気と地球の熱収支 3.2 大気と水の循環	7	・地球の熱収支と温室効果について理解し説明できる。 ・気象変化の要因である水や大気の循環を説明できる。
学年末試験		

F. 関連科目

理科総合(生物分野)、物理、化学